

岸和田市避難行動要支援システム導入業務 選定評価基準

評価項目		配点	評価の視点
(1)信頼性		60	
①	業務実施体制	30	・本業務に十分な知識や技術を有する人材を配置しているか。 ・構築から運用後の円滑な支援体制が整っているか。
②	構築実績	30	・他団体に対して同種・類似システムの導入及び稼働実績を有しているか。
(2)システム性能		380	
①	機能要件実装率	260	・本市が要求するシステム必須機能要件を満たしているか。
②	システム操作性	40	・視覚的に見やすいシステムとなっているか。 ・ユーザーからの要望等がシステム機能に反映されているか。 ・職員の作業負担軽減が十分に図れる機能を有しているか。 ・特別な知識を持たない職員にとっても使いやすいように、画面構成や入力操作の共通性及び検索機能の充実したシステムであるか。
③	システム可用性	40	・災害を想定し、ネットワークが切断されても対応可能なシステムとなっているか。
④	セキュリティ機能	40	・セキュリティ対策を講じているか。 ・データバックアップなどデータ保護対策が提案されているか。 ・アクセス権の設定、ログの確認等、操作ミスやシステム障害を未然に防ぐ対策を講じることが可能か。
(3)保守体制		60	
①	保守実施体制	20	・操作面・機能面・技術面に対する問合せ窓口の常設体制が整っているか。
②	操作研修実施体制	40	・初期導入時や本稼働後において、十分な研修が実施できるか。 ・操作マニュアルや運用マニュアルの具体的な提案がなされているか。
(4)構築技術		50	
①	既存データ移行	30	・既設データの移行に関する提案がされているか。
②	構築スケジュール	20	・作業ごとの工程、内容、役割分担が明確に提示されているか。 ・本市職員の作業負担を軽減する工夫がされているか。
(5)経費		150	
①	経費の優位性 (見積金額)	100	提案内容に対するシステム導入費用見積金額の優位性 最低価格(最低見積金額)÷自社見積金額×100＝評価点 評価点は、小数点第二位を切り捨てる
		50	提案内容に対するシステム保守費用見積金額の優位性 最低価格(最低見積金額)÷自社見積金額×50＝評価点 評価点は、小数点第二位を切り捨てる ※1か月間(令和9年3月1日～令和9年3月31日まで)の保守金額で評価
合計		700	